

献 呈 の 辞

昨年11月4日、東洋大学に於いて開催された第21回中世哲学会大会総会の決議に従って、本会機関誌第XV号を会長石原謙先生の90歳の御祝いに当てることができましたことは、誠に喜ばしいことであり、また光栄なことであります。先生は御健康上の幾多の障害を克服され、この御高齢をもって、第1巻「キリスト教の源流」、第2巻「キリスト教の展開」と題される「ヨーロッパ・キリスト教史」上下両巻の浩瀚な労作を完成されました。

先生は戦後、私共の中世哲学会を創設され、幾多の有能な研究者を育成指導された許りでなく、今回の御出版によって永年の御研鑽の成果を纏められ、私共後進に計りしれない倖わせを御与え下さいました。承るところによれば、先生が曾つて御勉学なされたハイデルベルク大学神学部は、今回の御出版と永年の御学績を讃え、名誉神学博士の称号を贈与されたとのこと、誠に慶賀に堪えぬ次第です。中世哲学会といたしましては、本誌を先生に献呈することを通じ、自他ひとしく認める先生の御功績に対する内外の讃嘆に参加させていただければ、誠に光栄に存ずる次第であります。

1973年7月1日

中世哲学会委員長

松 本 正 夫